



展望台芝生広場で何時ものように記念撮影



新型コロナウイルスによる緊急事態宣言や蔓延防止が国の要請により、今年度の定例会の実施は4月の東谷山とフルーツパーク散策、7月の八竜湿地から小幡緑地、それと今回10月の三回を実施するのみでした。

とにかくコロナ禍で昨年からの断続的に続いてきた自粛の日々が、ようやく晴れ間が見えてきて嬉しい限りです。

名鉄金山駅改札口に男性10名女性11名と自由参加3名を含めて24名が9時05分に集合して、9:14 発快速特急新鵜沼行きに乗車し、新鵜沼駅に9:51 に下車しました。

新名古屋駅で通勤の多数の方が降り、終点新鵜沼駅まで全員ゆったり座る事ができました。

犬山線の車窓からは子供の頃の原風景は今いづこ、郊外の市街地化に蚕食された稲刈りの済んだ水田が僅かに建物の隙間を通して見る事ができます。犬山遊園駅を過ぎれば木曽川の清流の両岸には里山低山の緑の山並みが目の前に迫り、久し振りに心浮き立ち気力が湧いてきます。

ところで駅前ロータリーを含め名鉄とJR鵜沼駅は、改築され昔の面影は無く鉄とガラスで構成された随分モダンな建築物に取って変わっていました。

駅前ロータリーで全員集合し、朝のご挨拶とコースの内容や注意事項の説明をしました。高層マンションを眺めながら駅前を通り過ぎ、鵜沼台の新興住宅地の緩い上りのメインストリートを北に向かいます。やがてうぬまの森の公園の正面入口に至り、全員が案内看板でコースの確認をし、入口左手のログハウスの「森の本やさん(児童図書館)森の交流館」のテラスでトイレ休憩です。

うぬまの森はネット検索によれば、正式には【生活環境保全林日本ラインうぬまの森】で面積は66haとの事です。

旧中山道は鵜沼宿を江戸に下向すればうぬまの森を谷沿いに東西に縦断して、うとう(疎う)峠を越えて木曾川沿いに坂祝(さかほぎ)を経て太田宿に通じていました。

昔の旅人は1日9里から10里を歩き、江戸まで10日程で歩き通したそうです。現代人には遠く及びません。

かつて皇女和宮の降嫁のため江戸下向の旅をされた他、参勤交代にも利用され、将軍献上の宇治茶を運ぶための「茶壺の道中」もあったそうです。

もりの本やさんから旧中山道の団栗が沢山落ちた石畳み辿り、大きな松と石碑の一里塚を左に見て「うとう峠」に至りました。

その先は峠を下り遊歩道は木曾川沿いの国道R21に合流します。

先人の旅の苦労を回想し旧中山道を分岐して緩い上りの「マンサクの道」を辿り、展望デッキを目指します。

まれに見る大グループ行列は長くなり少しづつ時間調整しながらゆっくりのんびりの散策ハイクです。やがて展望デッキに全員が登りその眺望に息を飲みました。

青空をバックに、遠くに銀嶺の御嶽・乗鞍岳を眺め、手前には青空を映した流水が岩を噛み砕く雄大な日本ラインの渓谷美を眼下に見る事ができました。先週までは夏の暑さも残り、今週になって急に秋の寒さが戻ってきました。その事で3000m峰の初冠雪の絶景に遭遇し、今日のウォーキングが人生の思い出の一ページになる事でしょう。



展望デッキから初冠雪の御嶽・乗鞍岳、手前には日本ライン木曽川



感激に浸りながら展望デッキを後にして、丸太階段の急登の「健脚の道」を辿ります。日頃自粛生活の方には息が弾み心拍数が上がり、徐々に足腰に負担がかかります。やがて登りきるとアスファルトの「さえすりの道」に合流しました。後は緩い上りのアスファルト道を皆さんおしゃべりしながら三々五々で上り標高 240.7m の影平山を過ぎて、目指す展望台に予定通り 12 時前に到着しました。

芝生広場の展望台は我々のみで眺望を楽しみながら、ゆっくりのんびりの至福のランチタイムを取る事ができました。食事が終わったところで何時ものように全員の集合写真の撮影です。それからご自身との体調と相談して、貞照寺(ていしょうじ)グループとこのまま下山グループとに別れて帰路につきます。

17 名の有志の方は南斜面の緩いつづら折りの砂利道を滑らない様に慎重に下ります。道は明瞭ですが、新興住宅地に合流してから地図と GPS を確認しながら方向を定め成田山

貞照寺に至りました。

貞照寺は川上貞奴の私財で建立された菩提寺で、仁王門・本堂・鐘楼・庫裡・演技館などの他、本堂の奥には貞奴の霊廟や、地藏奉安所等がありました。創建は昭和 8 年、屋根は全て銅板葺きで緑青に覆われ、七堂伽藍は小さいながら格調のある立派な寺院でした。本堂の裏側には貞奴の不動明王の信仰心が篤く、霊験ご利益を表現した彫刻絵画がありました。

日本初の女優川上貞奴を偲びつつ、寺を後にして JR 高山線に沿って鵜沼宝積寺町の村道を辿ります。やがて国道 R21 に合流し歩道ウォーキング中に、別れたグループから「全員無事に先の電車に乗車した」との連絡を受け取りました。貞照寺グループは 14:48 発内海行きに全員無事に乗車して帰路につきました。

小生は 16 時過ぎに本願寺町に帰宅し、因みに今日のスマホの歩数計は 15,800 歩、歩行時間は 2:40、歩行距離は 11km でした。(撮影 30 期 北川健一・文 31 期 宮田岩男)